

今後の農業センターの方向性

課題

農業（園芸）を取り巻く課題

- 少子高齢化による担い手不足
- 恒常的な労働力不足
- 稲作の経営規模の拡大等による園芸生産の減少

地域の課題及び要望を踏まえた今後の農業センターの重点的役割

地域に根ざした農業試験研究機関として、地域ニーズに対応した試験研究や分析等を行い、他の研究機関や種苗メーカー、資材メーカーからは得られない独自の情報を生産者へ還元することにより農業生産の基礎を支えるとともに、担い手の減少に対応する新規就農対策や生産基盤である農地の持続的・安定的な維持のための土づくり対策の強化に取り組む。併せて、都市と農村の交流機能においては、施設の有効利用に向けた取組を進める。

現状

農業支援機能

園芸作物等の生産技術の試験研究と成果の普及

- ・園芸作物等の生産技術の試験研究（R2：11課題）

生産者に対する技術指導，新規就農者等の研修

- ・現地巡回指導，相談対応
- ・品目部会等の研修会及び視察受入等
- ・新規就農予定者等に対する技術研修（R2：7回）

土壌分析及び適正施肥の推進

- ・土壌分析の実施（R2：1，413件）

農業残留事故防止等のための取組

- ・市内野菜等の農業残留実態調査（R2：69検体）
- ・農業残留リスクの低減に係る試験研究

都市と農村の交流機能

- ・家庭菜園講習会（R2：3回）

- ・和室，ホール，農産加工設備，体験農園の貸出し

- ・農業公園等の管理，開放

今後の方向性と取組内容（R3年度～）

農業支援機能

園芸作物等の生産技術の試験研究と成果の普及

- ・地域要望に対応した園芸作物等の生産技術の試験研究の実施（地域の基幹品種の選定や新たな栽培品目・栽培法に係る試験研究を重視）

生産者に対する技術指導，新規就農者等の研修

- ・現地巡回指導，相談対応の実施
- ・品目部会等の研修会及び視察受入等の実施
- ・新規就農予定者等に対する技術研修の実施
- ◎センターの施設や設備を活用した新規就農者等技術研修の検討
→（公約）農業センターで行う新規就農希望者向け技術研修に、近隣8町の新規就農希望者等が参加する取組ができないか検討中
- ◎新規就農予定者等の利便性向上を目指した業務の見直し

土壌分析及び適正施肥の推進

- ・土壌分析の実施
 - ◎土づくりに係る現地巡回指導の実施
 - ◎土壌分析の利用促進対策の強化
- 土づくり対策支援事業の実施

農業残留事故防止等のための取組

- ・市内野菜等の農業残留実態調査の実施
- ・農業残留リスクの低減に係る試験研究の実施

都市と農村の交流機能（施設の有効利用に向けた取組）

- ・家庭菜園講習会の実施
- ・和室，ホール，農産加工設備の貸出し，管理方法の検討
- ◎農産加工設備の利用増に向けた取組の実施→市民体験学習講座の実施
- ◎子育てや福祉に関わる団体の体験農園の利用の検討→R4年度に募集枠設定
- ・農業公園等の開放，管理コストの低減に向けた取組の実施
- ◎花壇等の情報発信の強化→旭川市のSNSを活用した情報発信

生産現場を支える重要な取組として継続

地域要望に沿った取組の充実・拡大の検討

土づくり対策の取組の強化

産地の信頼性を支える重要な取組として継続

取組の継続

管理方法の検討
利用環境の整備

管理のスリム化
情報発信の強化

目標

農業支援機能

切れ目ない支援の実現

- 農業振興
- 新規就農支援
- 技術支援，技術普及
- 試験研究，分析

都市と農村の交流機能

市民の施設利用
における
魅力の向上